

技術名称：煙突内アスベスト含有断熱材除去処理技術
「W・J・B工法（除去工法）」

1. 審査証明対象技術

1.1 審査証明依頼者

株式会社 アイ・エヌ・ジー
代表取締役 木村 実牙男
千葉県野田市中野台鹿島町 11 番地 26

1.2 技術の名称

煙突内アスベスト含有断熱材除去処理技術
「W・J・B工法（除去工法）」

1.3 技術の概要

既存の煙突内に施工されたアスベスト含有断熱材（アスベスト含有ライニング材を含む、以下同）をアスベスト粉じんの飛散防止を十分に配慮し、かつ、関連法令等に則って安全に除去する技術。

本工法の特徴は、超高压噴射ノズルを煙突頂頭部の開口部から吊り下げ、超高压水を噴射し除去する。

除去されたアスベスト含有断熱材は、集積槽に集めバキューム車を用いて吸引回収し、コンクリート固化し産業廃棄物として専門処理業者により処理し、汚水は沈降処理して放流する。

2. 開発の趣旨

既存の煙突内に施工されたアスベスト含有断熱材の除去に際し、アスベストの飛散を防止する工法を確立し、その普及を図る。

3. 開発の目標

- (1) 除去工事に際し、作業区域に隣接する部分の空気 1 リットル中の繊維状粒子（アスベスト繊維を含む）の本数をおよそ 10 本以下とすることにより、汚染を抑制する。
- (2) 除去工事終了後に、作業場所における空気 1 リットル中の繊維状粒子（アスベスト繊維を含む）の本数をおよそ 10 本以下とすることにより、建築物利用者の安全を確保する。
- (3) 除去工事中の作業者は、関連法令等に則って作業を行う等のほか、施工中に発生のおそれがある事故を想定して、その対策を講ずることにより、安全を確保する。

4. 審査証明の方法

依頼者より提出された以下の資料に基づき審査証明を行った。

- (1) アスベスト除去工事に関する技術資料
- (2) 施工実績及び繊維数濃度等の測定データ
- (3) 審査の過程において必要とされた追加資料
- (4) 施工現場調査

5. 審査証明の前提

本審査証明は、依頼者から提出された資料等には事実と反する記載がなく、依頼者の

責任において適正に設計・施工・品質管理等が行われることを前提に、依頼者から提出された資料に基づいて行われたものである。

6. 審査証明の範囲

審査証明は、依頼者より提出された開発の趣旨及び開発の目標に対して、設定された確認方法により確認した範囲とする。なお、個々の工事等の実施過程及び実施結果の適切性は審査証明の範囲に含まれない。

7. 審査証明結果

本技術について、前記の開発の趣旨、開発の目標に照らして審査した結果は、以下のとおりである。

- (1) 除去工事に際し、作業区域に隣接する部分の空気 1 リットル中の繊維状粒子（アスベスト繊維を含む）の本数がおよそ 10 本以下となり、汚染を抑制することができるものと判断される。
- (2) 除去工事終了後に作業場所における空気 1 リットル中の繊維状粒子（アスベスト繊維を含む）の本数がおよそ 10 本以下となり、建築物利用者の安全は確保できるものと判断される。
- (3) 除去工事中の作業者は、関連法令等に則って作業を行う等のほか、施工中に発生のおそれがある事故を想定して、その対策を講じていることから安全は確保できるものと判断される。

8. 留意事項及び付言

- (1) 作業員・管理者等に対して、アスベストに関する基礎的知識・本技術の施工マニュアル等について、事前に十分な教育を実施し、安全性の確保に努めること。

9. 審査証明経緯

- (1) 建設技術審査証明事業において、2009年3月18日付けで技術審査を完了した。
- (2) 本技術に関する更新及び下記の変更について、2013年9月30日付けで技術審査を完了した。ただし、更新日は2014年3月18日として取り扱う。
 - ・石綿障害予防規則の改正等に伴う施工マニュアルの見直し
 - ・繊維数濃度測定計画の一部変更 など